



## 2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3176 URL <http://www.sanyo-trading.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	22,494	18.2	1,793	35.8	1,821	29.7	1,197	30.3
2018年9月期第1四半期	19,038	13.4	1,321	0.2	1,403	△4.8	919	2.2

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 784百万円(△31.1%) 2018年9月期第1四半期 1,138百万円(△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	83.68	83.22
2018年9月期第1四半期	64.26	63.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	43,726	27,105	61.2
2018年9月期	41,606	26,756	63.5

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 26,759百万円 2018年9月期 26,417百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	30.00	—	34.00	64.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	34.00	—	35.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	8.3	5,600	6.4	5,750	3.1	3,900	7.3	272.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の経営計画および業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年9月期1Q	14,503,854株	2018年9月期	14,503,854株
2019年9月期1Q	188,195株	2018年9月期	188,174株
2019年9月期1Q	14,315,670株	2018年9月期1Q	14,309,180株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や好調な企業収益、設備投資の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中通商問題の動向や中国経済の減速懸念、金融資本市場の変動の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は22,494百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は1,793百万円（前年同四半期比35.8%増）、経常利益は1,821百万円（前年同四半期比29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,197百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しています。従来コスモス商事(株)と(株)ケムインターを国内子会社セグメントとしていましたが、当セグメントを廃止し、コスモス商事(株)は機械資材セグメントに、(株)ケムインターは化成品セグメントにそれぞれ含めています。なお、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいています。

#### ①化成品

ゴム関連商品は、主力の自動車・家電・情報機器関連向け合成ゴムや副資材等は堅調でしたが、一部輸入品の低迷により、全体として低調でした。化学品関連商品では、染料、畜産関連、接着剤および関連機器やアジア向け輸出関連が好調で、米国・台湾向けでの半導体関連商材等の販売も大きく伸長しましたが、中国での環境規制に起因して、主力の塗料・インク関連と高付加価値添加剤、フィルム関連が低迷し、全体として低調でした。

この結果、売上高は8,316百万円（前年同四半期比7.1%増）、セグメント利益（営業利益）は513百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

#### ②機械資材

産業資材関連商品では、前期に引き続き各種自動車部材、特にシート用・内装用部品の販売で好調が続き、売上・利益ともに好調であった前年同期実績をさらに上回りました。機械・環境関連商品も、木質ペレット製造案件が実現し、売上・利益ともに前年同期比で伸長しました。科学機器関連商品は、表面物性機器やガス分析機器が好調に推移しましたが、摩擦摩耗試験機、バイオ関連機器が前期の反動で低迷し、全体として低調でした。資源開発関連商品は、石油ガス・海洋開発分野が掘削プロジェクトの実現で好調に推移しました。

この結果、売上高は8,500百万円（前年同四半期比29.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,143百万円（前年同四半期比44.1%増）となりました。

#### ③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、自動車部材が低調で売上高は減少しましたが、販管費の減少等により、利益面では前年同期を上回りました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、ゴム・化学品関連商品は低調でしたが、自動車部材が堅調で、販管費の大幅な減少もあり好調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、ゴム関連商品および自動車部材が好調でした。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、化学品関連の不振や事務所移転による経費増等により減益となりました。

なお、当四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めたSun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.の業績も寄与しました。

この結果、海外現地法人の売上高が5,612百万円（前年同四半期比21.5%増）、セグメント利益（営業利益）は292百万円（前年同四半期比89.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、現金および預金の増加や売上増に伴う売上債権の増加等により、前連結会計年度末比2,730百万円増加し、36,643百万円となりました。

固定資産は、主に株式市場の下落による投資有価証券の減少により、前連結会計年度末比610百万円減少し、7,083百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は43,726百万円（前連結会計年度末比2,119百万円の増加）となりました。

### (負債)

流動負債は、在庫積み増しに伴う仕入債務の増加や前受金の増加等により、前連結会計年度末比1,889百万円増加し、15,517百万円となりました。

固定負債は、主に投資有価証券の評価差額減少に伴う繰延税金負債の減少により、前連結会計年度末比119百万円減少し、1,103百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は16,621百万円（前連結会計年度末比1,770百万円の増加）となりました。

### (純資産)

その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少によってその他の包括利益累計額が減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産は27,105百万円（前連結会計年度末比349百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月6日発表の通期の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,468,514	3,485,783
受取手形及び売掛金	17,133,083	18,345,197
電子記録債権	880,147	957,064
商品及び製品	11,637,104	12,344,235
仕掛品	1,757	1,503
原材料及び貯蔵品	2,251	2,503
その他	1,844,530	1,540,350
貸倒引当金	△54,743	△33,323
流動資産合計	33,912,645	36,643,314
固定資産		
有形固定資産	2,143,298	2,153,733
無形固定資産		
のれん	432,350	391,714
その他	743,396	733,371
無形固定資産合計	1,175,747	1,125,086
投資その他の資産		
投資有価証券	3,527,796	2,951,101
その他	847,420	854,828
貸倒引当金	△22	△1,185
投資その他の資産合計	4,375,194	3,804,743
固定資産合計	7,694,240	7,083,562
資産合計	41,606,886	43,726,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,357,749	9,683,302
短期借入金	1,806,177	1,950,318
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	897,773	662,358
引当金	22,386	137,715
その他	2,493,805	3,034,157
流動負債合計	13,627,891	15,517,852
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付に係る負債	765,205	781,992
その他	407,379	271,269
固定負債合計	1,222,584	1,103,261
負債合計	14,850,476	16,621,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	405,231	405,231
利益剰余金	24,033,101	24,837,101
自己株式	△180,813	△180,856
株主資本合計	25,264,106	26,068,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,048,774	717,720
為替換算調整勘定	104,439	△25,833
その他の包括利益累計額合計	1,153,214	691,886
新株予約権	72,911	72,911
非支配株主持分	266,176	272,900
純資産合計	26,756,409	27,105,762
負債純資産合計	41,606,886	43,726,876

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	19,038,011	22,494,878
売上原価	15,649,043	18,460,947
売上総利益	3,388,968	4,033,930
販売費及び一般管理費	2,067,622	2,240,073
営業利益	1,321,346	1,793,857
営業外収益		
受取利息	2,395	3,247
受取配当金	18,708	21,633
為替差益	51,171	2,946
その他	24,390	16,321
営業外収益合計	96,665	44,149
営業外費用		
支払利息	5,685	8,151
売上割引	3,522	2,444
その他	5,146	6,410
営業外費用合計	14,355	17,005
経常利益	1,403,656	1,821,000
特別利益		
原状回復負担金等収入	130,000	—
受取補償金	—	17,650
特別利益合計	130,000	17,650
税金等調整前四半期純利益	1,533,656	1,838,651
法人税等	575,327	621,343
四半期純利益	958,329	1,217,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,798	19,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	919,531	1,197,974



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	958,329	1,217,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,098	△331,597
為替換算調整勘定	44,195	△100,732
その他の包括利益合計	180,294	△432,329
四半期包括利益	1,138,623	784,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,090,087	766,188
非支配株主に係る四半期包括利益	48,536	18,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,765,785	6,586,745	4,619,406	18,971,936	56,292	19,028,229	9,782	19,038,011
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	780,626	108,858	353,192	1,242,677	9,277	1,251,954	△1,251,954	—
計	8,546,411	6,695,604	4,972,598	20,214,613	65,569	20,280,183	△1,242,171	19,038,011
セグメント 利益	546,964	793,430	154,272	1,494,667	45,309	1,539,976	△218,630	1,321,346

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額9,782千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額△218,630千円には、のれん償却額△40,636千円、各報告セグメントに配分していない販売費および一般管理費△148,299千円、管理会計との為替調整額△24,163千円が含まれていません。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,316,949	8,500,314	5,612,483	22,429,747	31,908	22,461,656	33,222	22,494,878
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	694,083	97,994	365,145	1,157,222	6,704	1,163,926	△1,163,926	—
計	9,011,033	8,598,308	5,977,628	23,586,970	38,612	23,625,583	△1,130,704	22,494,878
セグメント 利益	513,373	1,143,348	292,749	1,949,471	19,036	1,968,507	△174,650	1,793,857

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額33,222千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額△174,650千円には、のれん償却額△4,884千円、各報告セグメントに配分していない販売費および一般管理費△166,187千円、管理会計との為替調整額△4,244千円が含まれていません。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来掲載していた「国内子会社」について、当第1四半期連結会計期間より、相対的な金額的重要性の低下および事業別区分として明瞭化する目的で「化成品」および「機械資材」へ振り分けています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載していません。